

メリーの居る年越し

作： Rei..HLfH. ID:b36ttV/c

年の明ける30分前に書き始めて、20分で仕上げたタイムアタックなSS

AM0:00

「ふぁ～…。寝よつと…」

「あ、メリー」

「ん？どうしたの隆一」

「あけましておめでとうございます」

(立ちながらのお辞儀)

「な、何よ？いきなり改まって」

「いや、正月なんだし、コレくらいはキチンとやらないとな」

「…あっそ、私は寝るから、静かにしてね」

「待て待て待て、布団にもぐりこむな」

「何よ…」

「いや、僕が言ったんだから、メリーもやっところや、な？」

「まったく…妙なところが爺臭いわね」

「新年はすっきり迎えたいだろ？」

「わかったわよ…。おめでとう…」

「はい、もっと大きく声だそうねー!!」

「くっ…。あ…あけまして…おめでとう…!!!」

「照れないで、ちゃんと喋ろうや」

「…!!照れてなんか無いわよ!!」

「じゃあ、ちゃんとやって見せてみ」

「分ったわ、見せてあげる」

(両膝をつき、両手を八の字に置き、恭しくお辞儀をする)

「新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います」

「え？あ、どうも、こちらこそ…」

(隆一も頭を下げる)

「…どう？」

「むむ…。文句なしだ…」

「さて、私は寝るわね」

(布団に潜り込む)

「あ、おばあちゃんが年越しそばを作ってるから、まだ寝ない方がいいぞ」

「うう…。眠いのに…」

(ごそごそと出てくる)

「起きるんかい」

「当たり前でしょ…。年越しは蕎麦に限るのよ」

「…どっちが爺臭いんだか…」

「何ですって!？」

(ガッ!!)

「あ痛ーっす!!」

「今年もばっちり鍛えてあげるから、覚悟しなさい」

「『いじめる』の間違いだろ…行ッテッ!!耳を引っ張ッ 行ッテッテッ!!」

「私はどっちでもいいのよ、アンタの傍に…(ハッ!!)!!!」

「え？僕の蕎麦？…僕の分はやらんぞ」

「うっさい!!」

(ガッ!!ガッ!!ガッ!!)
「うぎゃああああああああ!!」

夜の町に届く2006年の到来を告げる除夜の鐘には、
少し悲鳴が混ざっていた。

拍手っばいもの(感想やら)

- なんか照れてるところというか、照れ隠しにいじめるところがいいですね。
今年も、来年もメリーさんと一緒にいられるといいですね。
タイムアタックSSはメリーさんのじゃないけど、バレンタインとかホワイトデーにあわせて掲示板にかいたことあったな・・・ -- 317 ID:pVfVF/tr (2006-01-13 01:59:16)
- 続きが気になります!!
-- ななし (2007-07-30 12:35:34)

名前:

コメント:

投稿